

【コアループリックについて】

導入の目的

コモンループリック（本校ではコアループリックと呼称）を定めることで、生徒達は本校の目指す生徒像を具体的に理解することができる。また、教員も評価をより簡単かつ適切に行うことができるため。

加えて、各課題・教科・科目・行事・クラス経営などの種々の状況に応じたループリック作成の際、作成される評価指標の基盤「コモン（共通化された）ループリック」があることで、適切なループリック作成（評価）が行えるため。

コモンループリックとは・・・

ループリックは、ひとくくりにまとめて共通化することで、各クラス間の学びを評価するツールとして活用できる。ループリックの共通化がはかられたものは、一般にコモンループリック（本校ではコアループリック）と呼ばれ、教科で使用されたり、各学年での到達目標を反映させた形で運用されたりする。

本校の考えるコアループリックとは、学校が掲げるベンチマーク・達成目標（本校の場合、学校教育目標）を踏まえた共通要素を持ち、関連する事項として教材・テキスト・生徒の学習スキルの伸長状況を教員間で共有できるところに大きな特徴がある。

それにより、①到達目標が明確になり、②成績やレポート等の自己点検が簡便になるとともに、③学習計画の一貫性を高めることが可能になるといった効果が期待できる。

運用の際には、複数科目でコモンループリックを用いる際に、①評価の観点・基準を共有する、②課題提示とフィードバックのタイミングを調整する、③学習スキルの伸長状況を教員間で共有する3点を重視して運用を行うこととしている。